

今年の御文 五帖目第二通

それ○八万はちまんの法蔵ほうぞうをしるといふとも●後世ごせを  
しらざる人ひとを愚者ぐしやとす●たとい一文いちもん不知ふちの尼あま  
入道にゅうどうなりといふとも●後世ごせをしるを智者ちしやとすと  
いえり●しかれば当流とうりゅうのころは●あながちに、  
もろもろの聖教しょうぎょうをよみ●ものをしりたりといふ  
とも●一念いちねんの信心しんじんのいわれをしらざる人ひとは、い  
たずら事ことなりとしるべし●されば聖人しょうにんの御おんこと  
ばにも●一切いっさいの男女なんによたらん身みは●弥陀みだの本願ほんがんを  
信しんぜずしては○ふつと、たすかるといふ事ことある  
べからずと、おおせられたり●このゆえに、い  
かなる女人にょにんなりといふとも●もろもろの雜行ぞうぎょうを  
すてて●一念いちねんに弥陀みだ如来にょらい、今度こんどの後生ごしょうたすけた  
まえと●ふかくたのみ申もうさん人ひとは●十人じゅうにんも百人ひやくにん  
もみなともに●弥陀みだの報土ほうどに往生おうじょうすべき事こと●さ  
らさらうたがいあるべからざるものなり●あな  
かしこあなかしこ